

## 巻頭

著者	高橋 愛和
雑誌名	東北大学選鑛製錬研究所彙報 = Bulletin of the Research Institute of Mineral Dressing and Metallurgy, Tohoku University
巻 号	39 1
ページ	i - ii
発行年	1983-10-15
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/32836">http://hdl.handle.net/10097/32836</a>



高橋愛和工学博士

## 東北大学前教授 高橋愛和工学博士

高橋愛和先生は神戸市の御出身で昭和17年9月に東北帝国大学工学部金属工学科を御卒業後、同大学助手に任ぜられ、昭和20年7月同大学付置の選鉱製錬研究所講師、昭和22年同助教授となられた後、昭和27年富士製鉄株式会社（現新日本製鉄株式会社）に入社されました。同広畑製鉄所研究所長、同製品技術研究所副所長を経られ、昭和48年4月東北大学選鉱製錬研究所教授となりました。

その間先生は鉄鋼製錬に関する基礎から応用におよぶ研究に精力的に従事され多大の研究成果をあげられました。先生の御研究の領域は焼結鉱の製造ならびに性質に関する研究、ラテライトの処理に関する研究およびスラグの有効利用の研究等にわたり、多くの業績をあげておられます。とくに昭和48年東北大学に復職されて以来直接製鉄法の研究に従事され、直接製鉄技術の基礎確立と研究開発に関する研究を行なわれました。以上のような成果は国内外において高く評価されています。

また、先生は日本鉄鋼協会理事、日本学術振興会第54製鉄委員会委員として学協会のために活躍され、とくに日本鉄鋼協会共同研究原子力部会第二小委員会委員長、のちに原子力製鉄技術研究組合還元鉄部会主査として工業技術院大型プロジェクト高温還元ガス利用による直接製鉄技術の研究開発の指導にあたられ、多大の貢献をされました。

昭和58年4月1日をもって停年退官され株式会社鉄源に勤務されておられます。今後先生の益々の御健勝、御活躍を願うと共に、従来に変らぬ有益な御助言を賜わるよう切望する次第であります。